マチに学び都市を楽しむ／まちづくりNPO

特定非営利活動法人 もうひとつの旅クラブ

2021 年度（第 20 期）事業報告書

―はじめに―

すでに 2 年超にわたる（コロナ禍による）社会活動の様々な制約は、災禍期間の長さによる「それそのもの」がもたらす「期間限定型の変化」の域を超え、社会の奥深いところで「本質的な社会システム」を変異させ、生活全般の色模様を置き換えはじめているのではないか、という気配を漂わせる。

そんな世相の中、初回開催（2006 年）から回を重ね、今回１6 回目の開催にこぎつけ、このコロナ禍においてさえ、5 日間にわたる全会期（当該プログラム）を提供しきった「ご来光カフェ」の勇気は、都市おおさかの「本来的な価値のありか」を具体の行動によって探求する「この NPO 設立の本意」『もうひとつの旅』を、知恵と汗と根性をもってあらためて体現したものである。

しかしながら、2020 年 11 月 21 日に開催した「フォーラム 扇町マナビバ」からのネットワーク型の多様な展開は、コロナ禍等の影響をまともに受け、当初考えていた「様々なセクターと共同して起こす『もうひとつの旅』」には至らず、（中止には至らなかったものの）多様性を欠く仕切りとならざるを得なかった。

しかしこれらの「影響」も、例えば※プロボノのような「参加型の新しい社会システム」等々が、自由闊達に伸長する様を見聞きすれば、この NPO の立ち位置を再考するうえで、うってつけの一年であったとも認識できる。

このように、本事業年度は「コロナ禍の前～渦中～そして・その後」を見渡すことができ、この NPO 法人の今後について大いに考えさせられ、起草することが可能な事業年度となった。

※プロボノ（Pro bono）：各分野の専門家が、職業上持っている知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動全般（または、それに参加する専門家自身）。語源そのものはラテン語で「公共善のために」を意味するとされる。日本では、チーム型プロボノプログラムのコーディネートを行っている認定 NPO 法人サービスグラントの登録者数が 2010 年から 2020 年の間で 10 倍、支援実績が 1000 プロジェクトを超える等、大きな伸びを続けている。また、企業での CSR や人材育成、自治体における地域づくりの課題解決に向けた市民参加促進機会等としてもプロボノの導入に注目が高まっている。

1. 旅クラブが 2021 年度に取り組んだ事業実績

「はじめに」でも触れたように、当初狙っていた「様々なセクターと共同して起こす『もうひとつの旅』」には至らず、（中止には至らなかったものの）多様性を欠く仕切りとならざるを得なかった。ここでは、その詳細な理由は置き、ダウンサイズしつつも執り行った活動状況について報告する。2021 年度に取り組んだ主な事業は以下のとおりである。

（1）扇町マナビバの企画・実施
（2）「ご来光カフェ」の運営支援
（3）「大阪川床・北浜テラス」の企画・調整及び実施協力
（4）「もうひとつの旅～和歌山」の実施
（5）情報提供、提言活動事業

これら事業の詳細や組織内評価分析を以下に報告する。

（1）扇町マナビバの企画・実施

1.「落語とビジュアルアートのアニュアーレ」運営協力

チラシにあるように「協力」名義を提供する中で、会場の受付協力や審査員としての役務等に協力した。元々は、地域の専門学校等でデザインを学ぶ学生と、地域に存在する落語の定席の「２つの世界」を結び、その共同作業から新たな表現物（絵本）の創造をめざし、本 NPO 法人が主体的に関与することをイメージした。

先の状況から、本 NPO 法人の主体的関与はリセットしたが、今後とも会員個々人の資質に基づく協力は継承されるものと考えられる。以下はその概観である。

【事業内容】

・日　時：2021 年 10 月 17 日（日）13 時半～16 時
・場　所：大淀コミュニティセンター

・受付協力：米谷、岡本、田尻、岩田
・審査協力：福田
・受付及び全般の概観
　検温等感染対策を同時にこなしながらの受付業務に少々まごつきつつも、ビジュアルアーティストの卵たちの期待と緊張が入り混じる初々しい顔つきを見て、この催しの意義の大きさを実感した。役得で若手 8 人全員の創作落語を聴くこともでき、笑いながらこの噺がどんな絵になるか想像を巡らし、新しい落語の愉しみ方が一つ増えた気がした。
・参加者：李、福田、岡本、田尻、小坂谷、米谷、森

【主担当】李、福田、米谷

2.「なにわ百景⇔未来景」にかかるもの

原寸復刻「浪花百景」集成（発行：2020 年 11 月 20 日/編著者：橋爪節也）の著者と共同し、この図版データを畳大のタペストリーに仕上げ（仕上げ加工等、タペストリー所有：大阪市コミュニティ協会）、それらを並べて展示し「あたかも昔の町々を歩いているかのごとく」体験を重ね、そのことで「未来のおおさかに想いを寄せる」企画のようなことをイメージした。

先の状況から、本 NPO 法人の主体的関与はリセットしたが、今後とも会員個々人の資質に基づく協力は継承されるものと考えられる。以下はその概観である。

【準備的なプログラム】

①浪花百景ブラ李まちあるき
・日　時：2021 年 11 月 14 日（日）13 時～17 時
・コース：大阪天満宮～天神橋～大川沿い～桜ノ宮～鶴満寺
・内　容：各メンバーが担当する浪花百景について「わたしの未来景」を考えるため、北区のまちあるきを行った。北区に 20 年以上在住の李理事長による案内で、まちの変遷やコミュニティの変化などの説明を受けながら浪花百景の「今」の景を歩いた。
・参加者：李、米谷、岡本、田尻、守田、森

南天満公園

大川沿い（桜ノ宮）

鶴満寺

②「浪花百景⇔未来景」予行演習
・日　時：2021 年 11 月 21 日（日）13 時～15 時
・場　所：大阪市北区民センター
・内　容：浪花百景の中から北区にゆかりのある二十景を選び、それを拡大してバナー印刷したものを実際に会場に並べて予行演習を行った。「原寸復刻「浪花百景」集成」（創元社刊）を監修された橋爪節也先生に参加いただき、パネルを移動させながら、浪花百景をどのように歩くのが良いかアイデアを出し合った。地図上の位置に合わせ

て並べたり、季節や時間帯（明け方、夕方、夜等）でまとめたり、大川沿いの景色をつなげたりとテーマに合わせて自由に並べ替えられることが分かった。

・参加者：李、福田、岡本、田尻、小坂谷、米谷、森

【主担当】李、森、米谷

（２）「ご来光カフェ」１週間だけの夜明け伝説　の運営支援

【事業趣旨・目的】

市民共有の資産である「中之島の水辺」を舞台に「都心の自然」という魅力の発掘を行い、水辺という公共的空間の過ごし方、使い方を多様な側面から提案してきたご来光カフェの企画･運営主体を永年主体的に関わってくれているボランティアスタッフを中心とする「ご来光カフェ実行委員会」に委ね、後方支援や新スキームの検証、それらの調整過程を事業に位置付けて、３年目の実施となった。今回はコロナ禍に加えて従来使用していた厨房エリアがなくなるという状況もあり、大幅な体制見直しの上、開催することとなった。ご来光カフェは今回で 16 回目の開催である。

【事業内容】

・期　間：WEB：2021 年 9 月 29 日(水)～10 月 5 日(火)
　　リアル：2021 年 10 月 1 日(金)～10 月 5 日(火)

・営業時間：午前 5:40～6:30

・場　所：大阪水上バス淀屋橋港桟橋

・内　容：①桟橋の設え、準備日程や各種手続きの指導や協力
　　②カフェ期間の運営に対する協力
　　③専用ホームページや Facebook による PR の協力
　　④継続的な開催のための賛同者・ボランティアスタッフの募集･運営の協力

・実施主体：ご来光カフェ実行委員会

・協　力：大阪水上バス株式会社、NPO 法人もうひとつの旅クラブ

【事業成果】

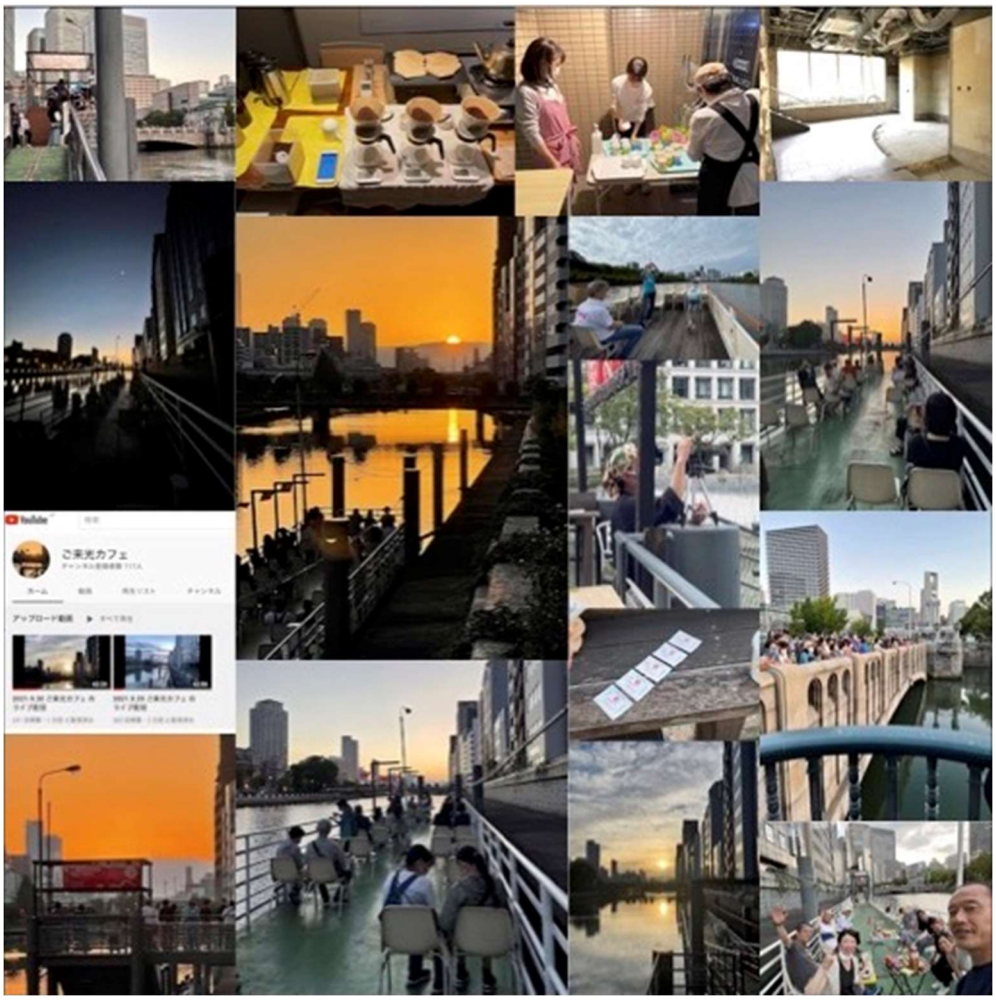
2021 年は従来の厨房がなくなったため、他所で淹れたコーヒーを 50 名限定で無償提供、お客様には運営協力金のお支払いを依頼するかたちでの開催となった。昨年同様、全来訪者やカフェ空間の消毒の徹底、受付・座席のレイアウト・誘導管理による三密の回避、営業時間の短縮を行った。

ご来光カフェ期間中の来訪者数は 222 名で昨年の 667 名に比べて約 1/3 となった。期間中はおおむね天候にも恵まれ全日程で開催でき、朝日を全く見られなかったのは 1 日だけであった。10 月 1 日と 5 日以外は早々に定員の 50 名を超えたため、その後のお客様には淀屋橋へ移動しての観覧をお願いすることとなった。メディア掲出は、読売新聞（9/29 朝刊）、例年通り水都大阪の公式サイトでも開催告知と動画（タイムラプス）を掲載いただいた。

フェイスブックの開催告知（今年は 9/18）については、リーチ 4374 件（昨年 9420 件）・シェア 42 件（昨年 61 件）となっている。フォロワーは 1291 名（昨年 1403 名）となり、いずれも減少傾向である。従来 200 名以上あった来場者キャパシティーを 50 名に絞っているため、積極的な告知もできず、やむを得ない状況といえる。人数限定を補うために始めた YouTube による WEB 中継については 6 日間合計で 1109 回視聴（10/1 は手違いによりアーカイブなし）、1 動画あたり 184 回の視聴があった。ただし、リアルタイムの視聴は一桁台を推移する程度であった。

スタッフについて、実施の 5 日間で延べ 70 名（14 名／日）、全日参加を申し出てくれる通称コンプリーターは 5 名であった。1 日平均約 14 名は昨年と同様である。未来につなげていくためには骨格を担える人材が現れることを祈るばかりである。

【活動写真】



【主担当】岩田、岸田、小坂谷、磯上、守田　（岩田、岸田は実行委員会メンバーを兼ねる）

（３）「大阪川床・北浜テラス」の企画・調整及び実施協力

【事業趣旨・目的】

北浜テラスは、今年は新規川床なし（増築のみ）、入れ替わり無し。コロナの影響により、キタハマミズムの運営社会実験を延期中。

【事業内容】

①各種会議

・総会（2021 年 12 月）＠メール開催

・理事会（原則毎月 1 回）＠メール開催

②テラスの設置・運営、テラス新設への支援

・OPTIMUS cafe 川床増築完了（2021 年 3 月）

③その他

・大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（2021 年 1 月 27 日＠オンライン）

→審議会での事業評価、河川占用期間の継続へ

【主担当】泉、福田（泉は北浜水辺協議会の理事、福田は監事を兼ねる）

（４）「もうひとつの旅～和歌山」の実施

【事業趣旨・目的】

もうひとつの旅 2021 では、和歌山市を訪れた。和歌山市は、和歌山県の県庁所在地であり、江戸時代には御三家の一つである紀州徳川家が治める城下町として栄え、戦後は企業城下町として繁栄したが、その後は人口減少や空き店舗の増加が続いている。和歌山市は、中心市街地の居住人口を回復させる方針のもと、大学の誘致、駅前再開発による市民図書館やオフィス、ホテルの集約などを行うと同時に、既存の建物を活用する「リノベーションまちづくり」を推進している。公民連携したまちづくりに関わる人から話を伺い、建物のコンバージョンによる再利用や水辺空間の活用について学ぶことを目的とした。

【事業内容】

・日　時：2021 年 7 月 23 日（祝・金）

・場　所：和歌山市

・訪問先：和歌山城、the public（本町公園）、Guesthouse RICO（ユタカビル）、本屋プラグ、水辺座、等

往路は JR 和歌山駅で集合し、復路は南海和歌山市駅から大阪に戻るという行程で、まずは和歌山市のシンボルである和歌山城を訪問した。昼食を兼ねて、パーク PFI 制度を活用した本町公園の整備事例として公園内にある店舗「the public」を訪れ、株式会社紀州まちづくり舎代表　吉川誠人氏より話を伺った。午後は、株式会社宿坊クリエイティブ代表　武内淳氏の案内で、リノベーションまちづくりの事例となる物件を巡った。

・参加者：李、岩田、脇、岸田、泉、田尻、米谷、岡本、森

和歌山城にて

「the public」店内

和歌山市内まちあるき

ゲストハウス RICO

リノベーションされた物件

水辺座の夕景

【主担当】森

（5）情報提供、提言活動事業

(1)～(4)の他にも、まちづくり NPO として、大阪のまちの魅力を再発見・開拓し、多くの人々と共有するために、各種情報提供や提言活動への参加等を展開した。

◆情報提供

1. 旅クラブ公式 HP が大幅リニューアル！

旅クラブの活動を幅広く周知するため、公式 HP は、2007 年に開設し、運用を続けている。近年、以下のような課題があった。

・現在運用中の HP は、開設当時は CMS（コンテンツマネジメントシステム）による HP 構築が出始めた頃であり最先端のものを使用して構築した。このプラットフォームを採用したことにより、多くの旅クラブメンバーが HP 作成に関わることができた。近年、より優れた CMS が数多く登場している上に、ユーザーの多くはスマホでアクセスするようになった。現在の HP をスマホでアクセスした場合、PC と同じレイアウト表示であり、スマホ上では文字や画像が小さくなってしまうため、閲覧したくなる HP とは言えなくなっていた。この解決のために、レスポンシブ Web デザインが可能な CMS に移行した（図 1）。

・公式 HP は、http プロトコルで運用されている。https プロトコルに対応しないと、セキュリティ上の問題（ある日突然、乗っ取られるかも）の他、google の検索ランクが低く扱われてしまう。この解決のため、サーバ側を設定変更し、https プロトコル対応とした。

・メンバーより「大工事」「この先、１０年の計かと存じます」「『やっていただけるとむっちゃありがたい！！』に一票です♪」とのフォローを受け、初代ホームページから 2 代目ホームページへの移行作業を実施した。作業を通じて、2002 年以降の旅クラブ活動の成果を見直すきっかけともなり、数多くの活動・体験の蓄積を改めて実感する機会ともなった。

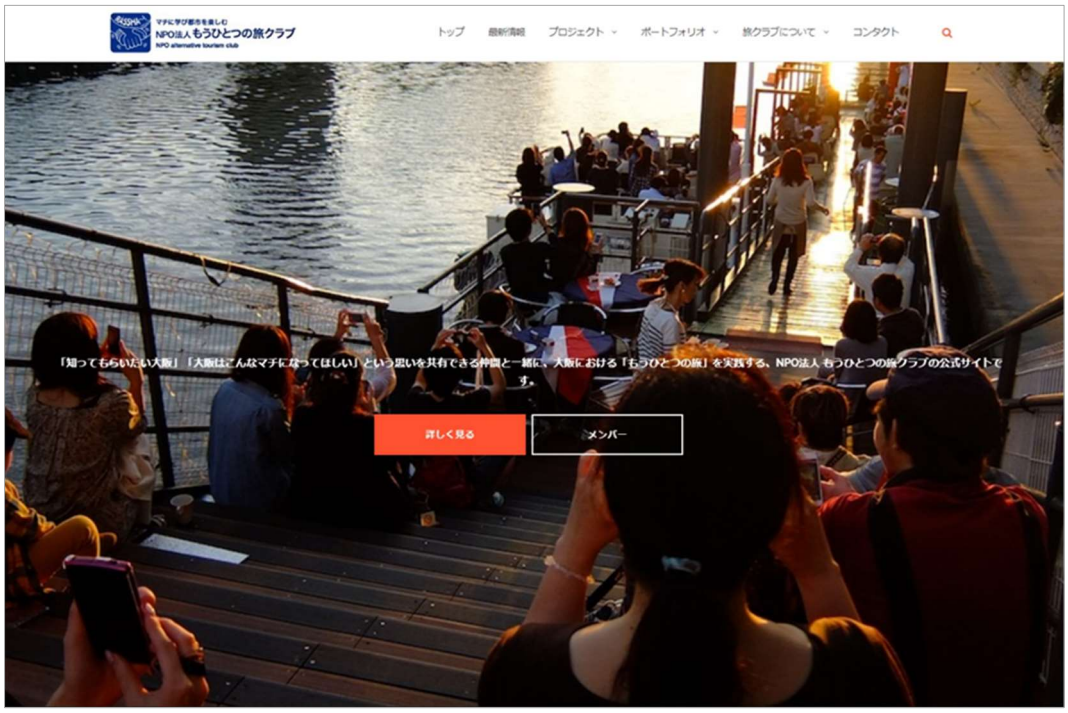


図 1　大幅リニューアルした旅クラブ公式 HP

2．旅クラブ Twitter 開設！

旅クラブの情報発信メディアとして 2007 年より公式 HP、2011 年より Twitter（ご来光カフェ）、2011 年よりフェイスブック（ご来光カフェ・大阪まち遊学）、2018 年よりインスタグラム（もうひとつの旅クラブ・ご来光カフェ）をそれぞれ運用している。今期は、以下の 2 点を新たに実施した。

旅クラブ公式 Twitter を新たに開設した。上述した旅クラブ公式 HP の各コンテンツを Twitter 上で紹介する他、旅クラブが「協力」という立場で参画している「落語とビジュアルアートのアニュアーレ」の告知媒体としても機能した。また、ご来光カフェ開催時期にはご来光 Twitter とつながりを意識した。

また、旅クラブのフェイブックは、旅クラブのコンテンツ（ご来光カフェ・大阪まち遊学）をメインに据えており、旅クラブの公式版が存在していなかった。もろもろ検討した結果、フェイスブック（大阪まち遊学）を旅クラブ公式版として、フェイスブック（もうひとつの旅クラブ・大阪まち遊学）とし、大阪まち遊学を含めて旅クラブの様々なコンテンツを紹介する場とした。

メディアの URL は、以下のとおりである。

- ✓ 公式 HP　http://tabiclub.org/
- ✓ Twitter（もうひとつの旅クラブ）64 フォロワー　https://twitter.com/osakatabiclub
- ✓ Twitter（ご来光カフェ）706 フォロワー　https://twitter.com/goraikocafe
- ✓ フェイスブック（もうひとつの旅クラブ・大阪まち遊学）サイト「いいね」518 人 https://www.facebook.com/osakaopentown
- ✓ フェイスブック（ご来光カフェ）サイト「いいね」1291 人　https://www.facebook.com/goraiko
- ✓ インスタグラム（旅クラブ）105 フォロワー　osakatabiclub
- ✓ インスタグラム（ご来光カフェ）172 フォロワー　goraiko.cafe

図 2　Twitter（左：もうひとつの旅クラブ、右：ご来光カフェ）

図 3　フェイスブック（左：もうひとつの旅クラブ・大阪まち遊学、右：ご来光カフェ）

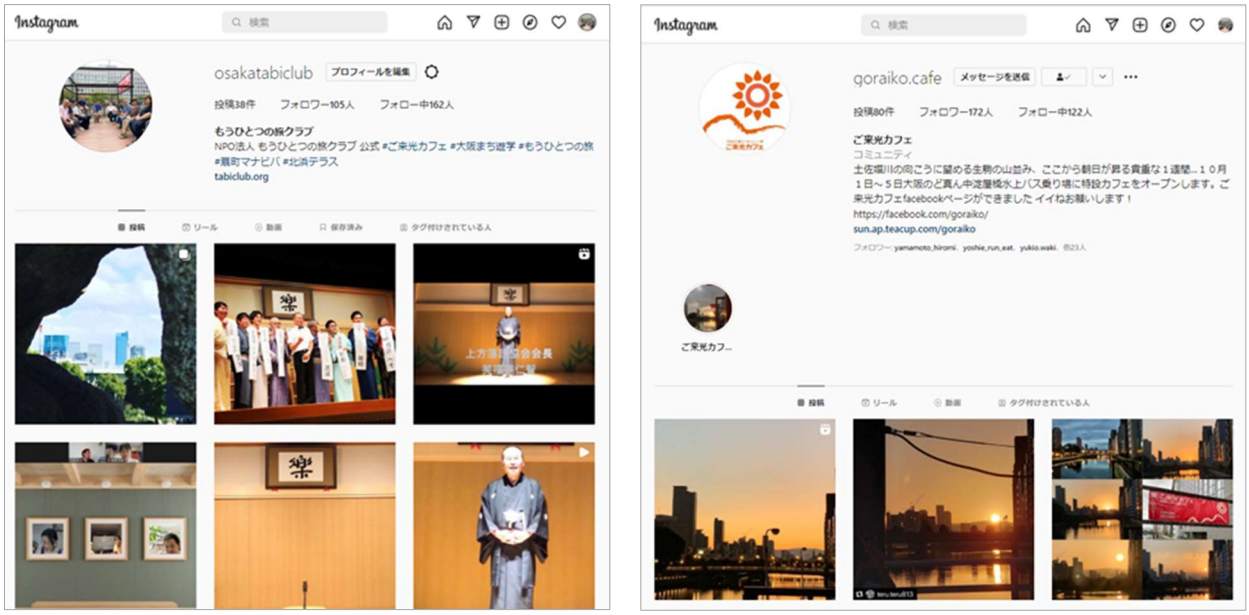


図 4 フェイスブック（左：ご来光カフェ、右：大阪まち遊学）

【主担当】福田、藤原、磯上

◆メディア掲載（新聞、出版、他）

1. OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木　2021 年 3 月号」
   編集：大阪市立総合生涯学習センター
   ・新おおさか KEY わーど「“扇町マナビバ”都市公園の新しい可能性」
   筆者：橋爪節也、担当：李
2. キタのまちのニュースレター　令和 3 年 7 月 25 日発行
   編集・発行：北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室
   ・地域の魅力再発見「北区を遠望してみると」　担当：福田
3. 大阪日日新聞（9 月 7 日）
   ・「落語とアートが融合」　担当：李
   他、スポーツニッポン、デイリースポーツ、日刊スポーツ、スポーツ報知に記載
4. 読売新聞（9 月 29 日）
   ・「ご来光カフェ」告知記事　担当：岩田
5. 読売新聞夕刊　（10 月 1 日）
   ・「落語とつながるアート　ネタから想像　学生が絵制作」　担当：李
6. キタのまちのニュースレター　10 月 17 日発行
   編集・発行　北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室
   ・地域の魅力再発見「なんと支流の数 965！　日本一の淀川・最北の源へ」　担当：福田

OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木　2021 年 3 月号」

キタのまちのニュースレター

令和3年7月25日発行

地域の魅力再発見 「北区を遠望してみると」

大阪の地図を西が上になるよう回転してみると（右地図・参照）、北区は「鶴」のように見えます。縁起よし！中之島は頭から首、大阪駅やうめきたは青中、淀川沿いは翼、大川沿いはお腹。さらに、大阪環状線を京橋まで、都島通を野江内代あたりまで描くと、鶴の足となります。鉄道や道路は現代の星そのものですね。北区と隣の区との境は、淀川、大川、登島川、土佐堀川がほとんど。川らしい柔らかな地形に囲まれているからこそ、生き物に見えたのでしょう。

形のみならず、まちは生き物であり、瞬時に変わる風景はまだしも、移り行く変化は気づきにくい。都会は複雑であり、よく観察する必要があります。ただし、好きなところからはじめる方が楽しいので、筆者のお気に入りを切り取ってみました。

▽淀川河川公園（西中島・十三野原地区）からの眺め / 都心の超高層ビル群を眺めつつ、緑と風は心地よく、鳥はさえずり、空は広い。人工と自然を味わえる（右写真・参照）。

▽お初天神 / にぎやかな通りを抜け都心のほっこり空間。昔に引き戻された感じ。夕方になれば提灯がともされ、梅鳥の匂い、まさにパワースポット。

▽中之島の物語 / 難波橋より東、「ばらぞの橋」で途切れる先は埋め立てで生まれ「剣先」まで続く。が、なぜか一体感は希薄。天満堀川との関係か、大川を分流するための工夫か、それとももっと別の理由なのか。

▽川崎橋 / 華奢な斜張橋。大川が南から西へときに向きを変えるところ。曲線の頂点からは、川をぐるりと見渡せ春は桜が展望を賑う、ふり返れば、大阪城。

▽梅田スカイビル空中庭園 / 2本の超高層ビルを連結させ、屋上を開放した展望台。淀川と大阪湾の風景、空港へ着陸態勢を整える旅客機、ビル群の向こうの大阪城。

人は五感の刺激により情報をキャッチしています。デジタル技術の発達やコロナ禍でも、「リアル」や「ライブ感」といった感受性は奪われたくないものです。そこで地域の魅力を再発見し、五感を刺激して、大好きな「どこか」を探り当てる。そんな「旅」にお誘いしたい。と、この連載をスタートします。

出典：https://maps.gsi.go.jp/ 地理院地図 電子国土 Web を加工して作成

■福田 知弘：大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 准教授／NPO 法人もうひとつの旅クラブ 理事

キタのまちのニュースレター（7 月 25 日発行）

落語とアートが融合

コラボ企画来月スタート
若手落語家と学生参加

大阪市コミュニティ協会（大阪城一郎事長）から「落語とアートを融合させた新たな試みができないか？」との呼び掛けに、上方落語協会（笑福亭仁智会長）が応じた「落語とビジュアルアートのアニュアーレ」の実施概要説明が、大阪市北区の天満天神繁昌亭で行われた。落語ら多くの関係者が新たな取り組みに期待を膨らませる。（徳山博史）

ビル谷間「ご来光」堪能して

1～5日 淀屋橋で催し

大阪・淀屋橋のビジネス街で日の出を楽しむ「ご来光カフェ2021」が10月1日から5日まで開かれる。会場の淀屋橋港湾桟橋（大阪市中央区）ではこの時期になると、ちょうどビルに囲まれた土佐堀川の向こうにある生駒山から昇る朝日を眺めることができる。市民有志でつくる実行委員会が2006年から実施している。

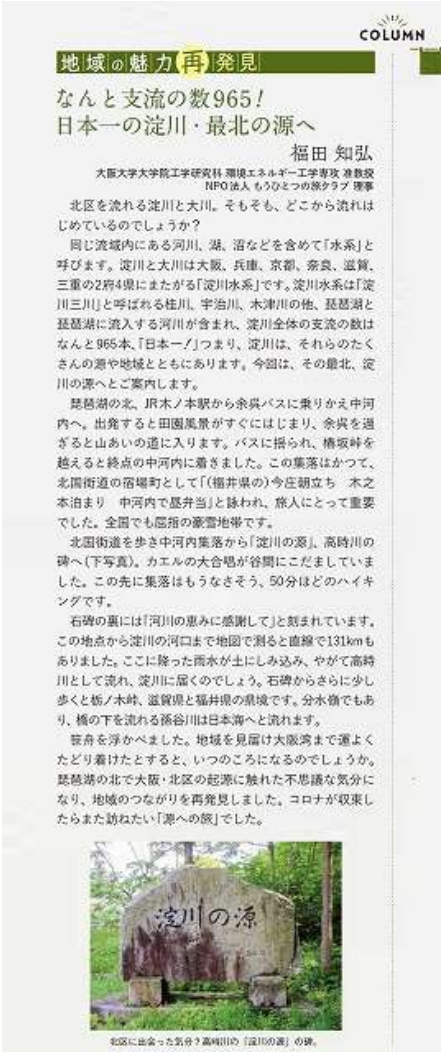
大阪水上バスが期間中の午前5時40分から6時半まで会場を提供する。今年は、カフェの営業はないが、入場者にはコーヒーを提供する。

定員50人で入場は1組2人まで。雨天中止。運営協力金として1人500円が必要。また、28日から10月5日までユーチューブで日の出を中継する。

実行委は「新型コロナウイルス対策で例年より人数を制限するが、この時期だけの眺めを楽しんで」と呼びかけている。問い合わせは、実行委（goraiko@tablclub.org）へ。

土佐堀川沿いのビルの間から見える日の出（2020年9月26日、大阪市中央区で）

読売新聞（9 月 29 日）



COLUMN

地域の魅力再発見

なんと支流の数965！ 日本一の淀川・最北の源へ

福田 知弘

大阪大学大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 准教授
NPO法人 もうひとつの旅クラブ 理事

北区を流れる淀川と大川。そもそも、どこから流れはじめているのでしょうか？

同じ流域内にある河川、湖、沼などを含めて「水系」と呼びます。淀川と大川は大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀、三重の2府4県にまたがる「淀川水系」です。淀川水系は「淀川三川」と呼ばれる桂川、宇治川、木津川の他、琵琶湖と琵琶湖に流入する河川が含まれ、淀川全体の支流の数はなんと965本。「日本一！」つまり、淀川は、それらのたくさんの源や地域とともにあります。今回は、その最北、淀川の源へとご案内します。

琵琶湖の北、JR木ノ本駅から余呉バスに乗りかえ中河内へ。出発すると田園風景がすぐにはじまり、余呉を過ぎると山あいの道に入ります。バスに揺られ、椿坂峠を越えると終点の中河内に着きました。この集落はかつて、北国街道の宿場町として「（福井県の）今庄朝立ち　木之本泊まり　中河内で昼弁当」と詠われ、旅人にとって重要でした。全国でも屈指の豪雪地帯です。

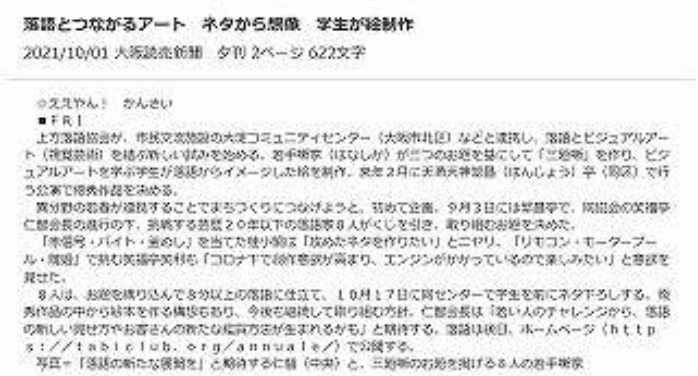
北国街道を歩き中河内集落から「淀川の源」、高時川の碑へ（下写真）。カエルの大合唱が谷間にこだましていました。この先に集落はもうなさそう、50分ほどのハイキングです。

石碑の裏には「河川の恵みに感謝して」と刻まれています。この地点から淀川の河口まで地図で測ると直線で131kmもありました。ここに降った雨水が土にしみ込み、やがて高時川として流れ、淀川に届くのでしょう。石碑からさらに少し歩くと栃ノ木峠、滋賀県と福井県の県境です。分水嶺でもあり、橋の下を流れる孫谷川は日本海へと流れます。

笹舟を浮かべました。地域を見届けた大阪湾まで運よくたどり着けたとすると、いつのころになるのでしょうか。琵琶湖の北で大阪・北区の起源に触れた不思議な気分になり、地域のつながりを再発見しました。コロナが収束したらまた訪ねたい「源への旅」でした。

北区に出会った気分？高時川の「淀川の源」の碑。

キタのまちのニュースレター
（10 月 17 日発行）



落語とつながるアート　ネタから想像　学生が経験作

2021/10/01 大阪読売新聞　夕刊 2ページ 622文字

☆えんやん！　かんさい

■FRI

上方落語協会が、市民文化施設の大淀コミュニティセンター（大阪市北区）などと連携し、落語とビジュアルアート（視覚芸術）を結び新しいすみわけを始める。若手噺家（はなしか）が三つのお題を基にして「三題噺」を作り、ビジュアルアートを学ぶ学生が落語からイメージした絵を制作。来年2月に天満天神繁昌亭（はんじょう）で行う公演で優秀作品を決める。

異分野の若者が連携することでまちづくりにつなげようと、初めて企画。9月3日には笑福亭仁智会長の進行の下、講師する芸歴20年以下の噺家8人がくじを引き、取り組むお題を決めた。

「冷蔵庫・バイト・蚤のこし」を当てた桂小梅さん「なめたネタを作りたい」とニヤリ。「リモコン・モーターブール・掃除」で知る笑福亭笑利さ「コロナ下で緊張が高まり、エンジンがかかっているので楽しみたい」と意気を見せた。

8人は、お題を練り込んで8分以上の落語に仕立て、10月17日に同センターで学生を前にネタ下ろしする。優秀作品の中から絵本を作る構想もあり、今後も継続して取り組む方針。仁智会長は「若い人のチャレンジから、落語の新しい見せ方やお客さんの新たな楽しみ方が生まれるかも」と期待する。落語は検索、ホームページ（https://tablclub.org/annuale/）で公開する。

写真＝「落語の新たな展開を」と期待する仁智（中央）と、三題噺のお題を掲げる人の若手噺家

読売新聞夕刊（10 月 1 日）

2. 旅クラブの組織活動（組織活動の充実と強化）と財源確保

（1）組織活動、市民参加による事業促進

①会員の拡大

大阪まち遊学の参加者との交流やご来光カフェの運営ボランティアスタッフの充実、また 10 月に実施した「落語とビジュアルアートのアニュアーレ」などを通じ、当 NPO の活動主旨に賛同いただける方の発掘に努めた。今年度は会員数の増減は以下のとおりで、当 NPO の活動に関心を持っている方は着実に増えている。

◇2021 年度の会員数

・正会員　22 名（前年度より退会 2 名、入会 1 名、再入会 1 名）

・賛助会員　0 名（前年度より増減なし）

②組織活動

昨年度と同様に運営委員会を月例で開催し、扇町マナビバ、もうひとつの旅、その他特別な事業の企画・実施方策等を協議した。

◇総会（第 19 回）の開催

・開催日時：2021 年 3 月 27 日（土）11 時 30 分～13 時 00 分

・会　場　：「大黒千牛レストラン」（大阪市中央区天満橋京町 1-1 天満橋京阪ｼﾃｨﾓｰﾙ 8 階）

・出　席　：14 名（書面出席 6 名）、欠席 2 名

・議　案　：第 19 期事業報告及び決選報告

：第 20 期事業計画及び収支予算の審議

：役員改選

◇理事会の開催

理事会は、2021 年 3 月 27 日（土）に 8 名参加、総会終了後に行われた。

◇運営委員会の開催

以下のとおり、理事・会員混合型の運営委員会を開催し、各事業の企画・運営協議を行った。今年も昨年と同じくリモート会議を併用した。

・1 月 24 日（日）8 名参加　・4 月 18 日（日）11 名参加　・5 月 23 日（日）10 名参加

・6 月 26 日（土）9 名参加　・8 月 28 日（土）10 名参加　・9 月 23 日（祝木）10 名参加

・10 月 23 日（土）12 名参加　・11 月 21 日（日）9 名参加　・12 月 29 日（水）10 名参加

忘年会は新型コロナ禍のため対面は中止し、リモートで開催した。

◇7 月 23 日（祝金）もうひとつの旅～和歌山日帰りツアー9 名参加

◇10 月 17 日（日）「落語とビジュアルアートのアニュアーレ」開催＠大淀コミニュティセンター

◇11 月 14 日（日）大阪市北区「浪花百景ブラ李まちあるき」6 名参加

◇11 月 21 日（日）「浪花百景⇔未来景」リハーサル＠大阪市北区民センター・大ホール

橋爪節也先生参加

（２）財源確保と課題

「はじめに」で触れたように、参加型社会が意味するところのイメージは、この NPO が組成された約 20 年前とは様変わりし、活動スタイルは多種多様に進化した。その様は自由闊達であり、（観光ビジネス系に数多く見られる）地域限定型の企業活動の一翼を担う場合もあれば、子ども食堂のようなセーフティネットを支える側と結ばれている活動もある。

また、世界ネットワークの環境 NGO や平和維持活動の NGO とタッグを組みながら、地域で活動するスタイルを貫いているケースもめずらしくなくなった。

さらに言えば、カタチ上組織化された活動に与するよりも、各個々人の自由意志で、その時その都度ごとに、自分自身の生活スタイルに合致させて「自由な意志に基づいて」参加する場合もごく普通の姿になっている。

この NPO が組成されて 20 年。なかばしきたりとなった４年毎に代表理事を交代する仕組みは現理事長が初代、その者に一周して、現在５代目である。次年度 2022 年度はその最終年に当たる。

この NPO のいま現在の活動スタイルに「財源確保と課題」という見立てをつけるとするならば、それは６代目の代表理事に委ねることが適切かつ妥当と考える。

以　上